

# 源昌寺通信 木漏れ日



第1号

発行元 浄土宗 光明山 源昌寺  
令和四年十二月発行

皆さま、いかがお過ごしでしょうか？

この度、お寺とあなたを繋ぐ源昌寺通信「木漏れ日」を発行することとなりました。生き生きとした緑の葉から差し込む光のように、明るく穏やかで暖かな。そんなお寺であるようにと願いを込めて・・・。「木漏れ日」と名付けました。皆さまとお寺を繋ぐ心の通信として、またお寺での出来事や最近の話題、仏教の話などなどをお伝えできれば幸いです。どうぞよろしくお願ひします。



## 年始めの「初念仏講」

令和四年一月十二日  
私が住職を拝命して初めての法要でした。新型コロナウイルス感染症の動向が気になる中、開催するに当たって非常に気を揉みましたが、たくさんの方々にお参りいただき、無事開催することができました。  
また、嬉しいことに初めて導師を務めたところを自分の携帯で撮影していただき、写真を頂きました。本当に有難うございます。  
こうして皆さまに支えられて源昌寺の法灯がつかっていくのだと痛感した法要でした。

## 源昌寺ホームページ

源昌寺では、平成25年よりホームページを作成しています。こちらもぜひご覧ください。

<http://saga-genshouji.com/>



光明山 源昌寺ホームページ URL

## 「お念仏」の教え、こころ新たに...

## 「御忌(ぎよき)法要」



浄土宗の宗祖法然上人のご命日忌の「御忌法要」を令和4年4月29日(祝)に開催しました。

嬉しいことに、そのときに撮影をしてくださった写真を頂きました。また、いつでも撮影して送りますよ！そう、言ってくださいました。中村様ありがとうございました。私は、学生時代は京都の大学に通っておりました。毎年夏の修練道場での修行を終えると、嵯峨野の清凉寺へお参りをしておりました。

まさにその場所は、法然上人が24歳の頃、皆が救われる道はないのだろうか。とお悩みになり、籠られて修行をされた場所でありました。いわば、浄土宗にとって原点となる場所でもあります。私は、無事に夏の修練が満行したことの報告を兼ね、また、法然上人のご遺徳を偲ぶために、参拝しお念仏を申しておりました。そんなことを思い返しなが、上人のご遺徳に感謝しつつ、皆さまと共にご回向をさせて頂きました。

## ～里に迎えて回向をする～「お盆合同回向会」を開催

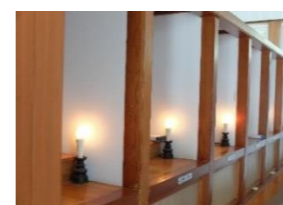


～親兄弟や愛し子を里に迎えて回向する～♪  
皆様と共に本堂にて8月12日・14日・15日。お盆の先祖供養をこういう形式で開催させていただきました。先代も引退し棚経と車の長時間運転は困難となりました。息子もまだ、車の免許を持っていないため、住職だけでは県内すべてをお盆棚経できない状態となりこういう形での開催をさせて頂きました。何卒、ご理解頂きますようお願い申し上げます。当面は、こういう形式でお盆は回向をさせていただきます。どうぞご了承ください。

## 住職からのお願い！

「脚下照顧」・・・

最近、納骨堂・新納骨堂の電灯が点いたまをよく見かけます。特に、新納骨堂にお参り後は、電灯を消灯の上、お帰り頂きますようお願いいたします。節電にご協力ください。



## 浄土宗 お念仏から はじまる幸せ

開宗850年

令和6年は、法然上人が浄土宗を開かれて850年目にあたります。「南無阿弥陀仏」とお念仏をとすれば、すべての者が救われる。この教えに確信を得られた上人は、京都・吉水の地「現在の知恩院」でお念仏を弘められました。

それから850年、その教えは色褪せることなく。